| 学校番号 | T0203 |
|---|---|

# 令和８年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 競技スポーツＢ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ４年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・競技スポーツの特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、協同・協調性を高めることができる資質や能力を育む。
・個人競技種目を中心に戦術やルールについての理解を深める。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に着ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・各種目における専門知識や審判法について学び、自分たちで試合を運営することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを感じ、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性についてについて理解しているとともにそれらの技能を身に付けている。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的､計画的な解決に向けて思考し判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむために､体力の向上を目指したり､運動の合理的･計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 種目別活動 | ・グループによる種目別活動<br><br>設定種目：バドミントン、卓球、ターゲットバードゴルフ、テニス、ソフトテニス、ショートテニス、陸上、水泳、など<br><br>設定種目にない種目を希望する生徒がいれば、人数、活動場所を考慮し、できる範囲で対応する。 | a：一般体育で学んだ技術や戦術を応用し、より高度な個人的、集団的技能を身につけている。<br>授業の内容を理解している。<br>運動の特性、練習法、審判法を理解している。<br>試合の運営方法を身につけている。<br><br>b：適切な課題を設定している。<br>運動の合理的な行い方や、計画的な活動の仕方を工夫している。<br><br>c：基本練習や試合のルール等を理解し、安全に注意して、自己の能力に応じて工夫し、自ら進んで活動する。<br>障がいの有無や年齢・性別にとらわれずルールの工夫など柔軟な対応や配慮ができるようにする。<br>お互いに協力して運動している。 | 受講状況<br>観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>活動状況 | 受講状況<br>観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>活動状況<br>自己評価<br>（面接による） | 受講状況<br>観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>活動状況 |
| 後期 | | | | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度